

動物発生工学の現在と未来 ～ 食料生産から医療応用まで ～

卵子・精子の形成、受精、そして個体への発生を科学する。そんな動物発生工学は、私たちの生活にどのように役立っているのでしょうか。私たちの食料となる畜産物の生産に利用されてきた発生工学技術は、科学の進展とともにますます身近な存在になってきています。

現在の家畜生産における発生工学技術の利用を本研究室の取り組みも含めて紹介します。さらに、医療への応用や、将来、私たちの生活にどう関わってくるのか、未来を少し想像しながら今後の発展性について一緒に考えましょう。

予約
不要

8月9日(木) 9:50～10:20

場所：全学共通教育棟 102

講師

ひまき

たけひろ

日巻 武裕 助教

(応用動物科学コース)

